

第六回

津花之能

えいかののう

おはなし

梅内美華子

狂言

止動方角

野村万蔵

能融

友枝真也



2020年11月15日(日) 午後2時開演 / 午後1時開場
十四世喜多六平太記念能楽堂

東京都品川区上大崎4-6-9 電話 03-3491-8813

※病気その他やむをえない事情で出演者が変更になることがあります。

能

融

後シテ 源融の霊
前シテ 老翁

友枝 真也

ワキ 旅僧

大日方 寛

間狂言 所の者

小笠原 匡

後見

中村 邦生
栗谷 浩之

地謡

谷 友矩
佐藤 陽
佐々木 多門
佐藤 寛泰
内田 成信
香川 靖嗣
友枝 昭世
友枝 雄人

大鼓 大倉慶之助
大鼓 澤田晃良
小鼓 観世新九郎
笛 栗林祐輔

狂言

止動方角

シテ 太郎冠者

野村 万蔵

アド主 野村万之丞
アド伯父 野村万禎
アド馬 野村拳之介

休憩二十分

おはなし 梅内美華子

終了予定 五時過頃



友枝 真也

1969年東京生まれ。上智大学法学部法律学科卒業。故友枝喜久夫の孫。喜多流十五世宗家故喜多実入門、友枝昭世に師事。1972年仕舞「月宮殿」にて初舞台。1984年「経政」にて初シテ、2004年「狸々乱」、2008年「道成寺」、2011年「石橋(赤獅子)」を抜く。「洩花之能」主宰。2014年重要無形文化財総合指定。



野村 万蔵

1965年生まれ。野村萬の次男。父に師事。2005年、万蔵家の名跡九世野村万蔵を襲名し当主となる。萬狂言を主宰。近年、狂言とコトを融合させた「現代狂言」の創作・演出や、英国コメディの演出なども手掛ける。また狂言大蔵流と和泉流の若手研鑽と交流を図る「立合狂言会」を発足させ次代の能楽界発展に尽力する。東京藝術大学非常勤講師。重要無形文化財総合指定。



梅内美華子

1970年青森県生まれ。歌人。馬場あき子に師事、歌誌「かりん」編集委員。同志社大学文学部卒業。1991年「横断歩道(ゼブラゾーン)」で角川短歌賞、2001年「若月祭(みかづきざい)」で現代短歌新人賞、2012年「エクウス」で芸術選奨文部科学大臣新人賞、葛原妙子賞。短歌研究賞。2016年青森県文化賞。現代歌人協会理事。歌集歌書に「真珠層」「現代歌枕 歌が生まれる場所」等。

あらすじ

止動方角 (しどうほうかく)

流行りの茶の湯をやりたいが茶道具を持たない主は太郎冠者に伯父のところへ行って茶道具と茶へ行くための馬と太刀を借りてこいと命じます。伯父から借りた物をようよう運んで帰った太郎冠者ですが、主には遅い、といて怒られます。主の態度に頭にきた太郎冠者は、馬についた癖を利用して主に仕返しを思いつきます…。

融 (とる)

京都六条の河原院の旧跡に源融の霊が現れ、その詩情を語ります。源融は平安時代初期の貴族で嵯峨天皇の皇子。百人一首の「みちのくのしのぶもじずりたれゆえに」の作者、河原左大臣として知られています。この能は世阿弥の作とされ、前半の源氏物語の「何某の院」のモデルともいわれる荒廃した河原院跡を語る前半と、往時の華やかな様子を現した後半との鮮やかな対比、また京都の名所を巧みな詞章で現し、深まる秋の情景を見事に表現した名作中の名作と言えます。

■予約開始

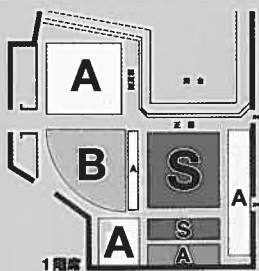
2020年8月17日(水) 10:00am~

■チケットのご案内

ウェブサイトからお申込みされた方は11月上旬youtubeにて配信予定の事前講座を無料にてご覧いただけます。

- S席 10000円
 - A席 9000円
 - B席 8000円
 - 二階自由席 4000円
- 学生の方、中学生以下の方を御同伴の方には割引があります。お問い合わせください。
- 友枝家公式サイト
「友枝家の能」からもお申込み・お問合せいただけます。
<https://tomoeda-kai.com/>

※公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの払い戻し、変更、再発行はいたしません。



※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

■お申込み・お問合せ

TEL:03-3491-8813

公益財団法人 十四世六平太記念財団

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

【交通案内】

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分

COVID19 感染拡大防止のため、使用する座席を制限して開催する予定です。